

知らなきゃ損!!

吸わないだけで、就職合格率アップ!?



アンケートで分かった、人事担当者の本音

厚生労働省*が行った、企業の人事担当者838人のアンケート調査。それにより、次のことが明らかになりました。

*厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「エビデンスに基づいたがん予防知識・行動の普及および普及方法の評価に関する研究」班

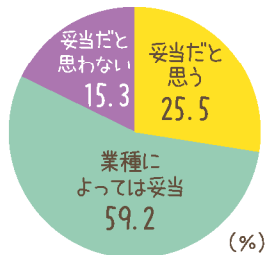


喫煙の有無を採用基準の1つにしてもよい企業が約85%!

喫煙の有無を採用基準の1つとすることをどう思うかの問いに、84.7%が妥当だと回答しました。現在採用基準に設定されていないくても、今後、採用基準の一つとして、「非喫煙者」が検討される可能性が高いと考えられます。

喫煙の有無を採用基準の1つとすることをどう思いますか

- 妥当だと思う
- 業種によっては妥当
- 妥当だと思わない



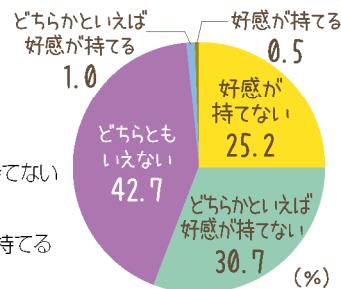
喫煙者の新社会人に好感が持てない企業がなんと半数以上!!

新社会人の喫煙に対してどのような印象がありますかの問いに、55.9%が好感が持てないと回答しました。理由として『自己管理ができていない』や『健康に対する意識が低い』という意見がありました。



新社会人の喫煙に対してどのような印象がありますか

- 好感が持てない
- どちらかといえば好感が持てない
- どちらともいえない
- どちらかといえば好感が持てる
- 好感が持てる



横浜市内企業の人事担当者の声

同じ能力なら、間違いなく非喫煙者を採用しますよ。

今や企業にとって、喫煙行為は、採用でもマイナスをつける時代になりました。喫煙者のための余分な設備費、喫煙による作業効率の低下など、喫煙は企業にとってデメリットでしかありません。これからの人類と地球に害を及ぼす喫煙に対して、当社では10年前から、「喫煙者の採用お断り」方針を打ち出しました。そういう企業は今後増えてくると思います。自分の人生プランを真剣に考え、将来の選択肢を狭めないためにも、今、「喫煙しないこと」を選んでみませんか?

喫煙はマイナススタートですよ。



Acroquest Technology株式会社 組織価値経営部 鈴木達夫氏

友達には言えないけど… アンケートで分かった、横浜の大学生の本音

2011年に、横浜市内の大学生対象に行った「タバコに関する意識調査(市内6大学3442人が回答)」によると、大学生のタバコに対するイメージは、1位の「健康に悪い」について、2位「臭い」・4位「人に迷惑をかける」であることが分かりました。

自分自身への悪影響というだけではなく、周りに対して迷惑な行為であるという認識が、大学生の中では常識となっているようです。

